社会認識を深めるための教材開発研究

１．プロジェクトメンバー

○釜田　聡　　教授
　川村　知行　教授
　朝倉　啓爾　教授
　二谷　貞夫　客員研究員
　橋本　忍　　研究員（上越教育大学附属小学校教諭）
　柳澤　一輝　研究員（上越教育大学附属中学校教諭）
　伊藤　貴史　研究員（上越教育大学附属中学校教諭）
　大田　節　　研究員（佐渡市立南中学校教諭）

２．研究の目的

本研究プロジェクトは，これまでセンターの研究プロジェクトとして取り組んできた「日韓の相互理解をめざした教材開発研究」と「社会認識を深めるための教材開発研究Ⅲ」の研究成果を引継ぎ，「社会認識」と「教材」との関係を探るため，新たな研究課題を設定したものである。

本研究は，センター（客員研究員を含む）と附属小中，地域の社会科・総合学習担当教員の協働で社会認識を深めるための方途を，子どもの学びや教材研究，評価の在り方などの視点から迫る。

３．研究の概要

今年度は，春と冬に授業研究会，冬に現地調査を行い，社会認識と教材に関係を探った。主な研究の概要は，次のとおりである。

（１）授業研究Ⅰ

①授業者　附属小　橋本忍教諭（３年２組）
②内　容　「大入り！スーパーマーケット」を観察し，社会認識を深めるための授業の在り方について検討した。
③方　法　授業観察と授業後の協議
④参加者　橋本忍教諭，川村知行教授，朝倉啓爾教授，釜田聡教授
⑤期日・期間・時間等
　平成２１年７月７日（火）　9時50分～10時20分　授業観察
　　　　　　　　　　　　　10時20分～10時40分　協　　議

（２）授業研究Ⅱ

①授業者　　附属中　柳澤一輝教諭（３年１組）
②内　容　　裁判員制度について
③方　法　　授業観察と授業後の協議
④参加者　　柳沢一輝教諭，川村知行教授，朝倉啓爾教授，釜田聡教授
⑤期日・期間・時間等
　平成２１年７月１４日（火）10時45分～11時35分　　授業観察
　　　　　　　　　　　　　　11時45分～12時35分　　協　　議

（３）授業研究Ⅲ

①授業者と授業内容
　附属中　柳澤一輝教諭（３年）共に生きる社会　－愛すべき未来へ－
　附属中　伊藤貴史教諭（２年）日韓の関係
②方　法　　授業観察と授業後の協議

③参加者　　柳沢一輝教諭，伊藤貴史教諭，釜田聡教授
④期日・期間・時間等
　平成22年2月24日（水）　9時45分～ 11時35分　　授業観察①②
　　　　　　　　　　　　11時45分～12時35分　　協　　議

【授業研究の概要】
本年度は，計４回の授業研究を行い，教材と子どもの関係から社会認識に深まりを検討してきた。
橋本教諭の「スーパーマーケット」の実践は，子どもの目線でスーパーをとらえ，現在のスーパー業界の抱える諸課題に子ども自身が迫っていけるように教師が教材研究を深めた授業であった。
柳沢教諭の「裁判員制度」「共に生きる社会（捕鯨の問題）」については，両方の授業とも現在の社会問題を生徒に提示し，生徒自身が社会問題を紐解いて，生徒なりの考えと解決の見通しをもつ授業であった。伊藤教諭の「日韓の関係」は，現地調査の結果を整理し，教材化した上で，授業実践を行ったものである。

（４）現地調査
①期　日　　平成21年12月26日（土）～12月29日（火））
②訪問者　　釜田聡教授，附属小・橋本忍教諭，附属中・柳沢一輝教諭，附属中・伊藤貴史教諭
③方　面　　韓国・ソウル市，大田市，公州市
④調査箇所

（公州市・宋山里古墳群模型館：2009.12，筆者撮影）

（公州市・宋山里古墳群模型館にて朴宰用氏：2009.12，筆者撮影）

（公州市・武寧王陵，2009.12.筆者撮影）

（公州市・国立公州博物館，2009.12，筆者撮影）

４．成果と課題
「社会認識」と「子ども」「地域」との関係に着目し，実践研究を進めてきたが，当然のことながら，教師の的確な教材研究に基づいた教材の準備と生徒の実態に即した学習過程の準備をすることで，よりより授業（社会認識を深める授業）が生み出されることが確認された。